

神々が、
舞い降りる

回覧 由布院温泉神楽

2025
4/13日

湯平谷川神楽座

YUNOHIRA TANIGAWA KAGURA ZA
13:00～

2025
5/11日

庄内子供神楽座

SHOUNAI KODOMO KAGURA ZA
13:00～

2025
6/8日

由布院神楽保存会

YUFUIN KAGURA HOZONKAI
13:00～

2025
7/13日

雲取神楽座

KUMOTORI KAGURA ZA
13:00～

2025
8/31日

小野屋神楽座

ONOYA KAGURA ZA
13:00～

2025
9/21日

庄内原神楽座

SHOUNAIBARU KAGURA ZA
13:00～

2025
10/19日

中臣神楽座

NAKATOMI KAGURA ZA
13:00～

2025
11/9日

竹の中神楽座

TAKENONAKA KAGURA ZA
13:00～

2025
12/14日

並若神楽社

NAMIWAKA KAGURA SHA
13:00～

2026
1/12祝

平石神楽座

HIRAISHI KAGURA ZA
13:00～

2026
2/15日

櫟木神楽座

ICHIGI KAGURA ZA
13:00～

2026
3/15日

阿蘇野神楽座

ASONO KAGURA ZA
13:00～

由布院温泉神楽とは？

大分県は、九州で神楽が最も盛んな県の1つです。

なかでも由布院温泉のある「由布市」には、10数社の異なる神楽座が点在し、中には200年以上も前から伝わる神楽もあり、それぞれに個性豊かな舞いを現在に伝えています。

そこで、由布院温泉にお越しになられたお客様への楽しみ方の一つとして、毎月一回「由布院温泉神楽～月一の奉～」と題して、郷土芸能「神楽」の定期公演を開催することにしました。勇壮でダイナミックな舞いをご堪能ください。

■主催 由布院おもてなし実行委員会

■共催 由布市・(一社)由布院温泉観光協会・(一社)由布院温泉旅館組合 ■協賛 湯布院ロータリークラブ・湯布院経済同友会

■後援 (一社)由布市まちづくり観光局・由布市商工会・ゆふいんラジオ局 ■協力 由布院盆地ボーイズ

■月一の奉■
YUFUIN
ONSEN
KAGURA

会場:乙丸公民館
入場無料

由布院温泉 神楽

■月一の奉■

YUFUIN ONSEN KAGURA

■湯平谷川神楽座

ゆのひらたにかぐらざ YUNOHIRA TANIGAWA KAGURA ZA

湯平谷川神楽座は、1978年に青年部の活動として発足しており、1983年には、たくましい湯平っ子の育成を目的として湯平子供神楽が発足しました。神楽座としては比較的、歴史の浅い神楽座ではありますが、古き良き神楽を舞えるよう取り組んでいます。

■由布院神楽保存会

ゆふいんかぐらほぞんかい YUFUIN KAGURA HOZONKAI

神楽は古来、巫女神楽、獅子神楽、出雲流神楽、伊勢流神楽に大別され、由布院神楽はそのうち出雲流神楽の流れをくむ岩戸神楽であります。

由布院神楽も町内に祭られている若宮八幡宮の9月15日秋の大祭と暮れの大晦日に奉納される舞です。

■並若神楽社

なみわかかぐらしゃ YUFUIN NAMIWAKA KAGURA SHA

昭和12年宇佐郡院内村重ヶ平神楽社の指導を受け昭和49年宇佐神宮で開催された大分県神楽大会に連続12回出場、大分文化会館で開催された西日本神楽大会に連続2回出場し、昭和55年大分文化会館で開催された全日本神楽大会に出場するなど安心院、院内、玖珠郡内での神社祭り神楽に積極的に参加して、神楽社員13名を以て日々練習に励んでいます。

■庄内原神楽座

しょうないばるかぐらざ SHOUNAIBARU KAGURA ZA

庄内原神楽座は、昭和天皇御大典を記念し、昭和2年小原神楽座として発足、昭和51年に、庄内原神楽保存会となりました。地元の神楽行事を始め、国民文化祭「神楽フェスティバル」や鹿児島県霧島神宮で開催された「南九州神楽まつり」、大分県神楽大会等にも出演し、県内外を問わず数多くの公演を行ってきております。

■小野屋神楽座

おのやかぐらざ ONOYA KAGURA ZA

昭和43年庄内神楽の祖、高津神楽の長尾東氏の勧めにより結成。町内外を問わず広く後継者を募集。現在17名の座員で構成しています。演目「日割」や大蛇4頭による「大蛇退治」は好評を博しています。

■阿蘇野神楽座

あそのかぐらざ ASONO KAGURA ZA

阿蘇野神楽座は、豊後大野市朝地町の深山神楽を伝承しており、現在楽員は十六名で神楽の保存に努めております。年間活動として、町内の春秋のお祭りで豊作祈願や家内安全祈願等で、神楽を奉納させていただいております。また、大分県神楽大会(宇佐神宮)、日本神楽大会、平成十年に当町で開催された国民文化祭神楽フェスティバル等にも出場をいたしました。

神々が、舞い降りる

■庄内子供神楽座

しょうないこどもかぐらざ SHOUNAI KODOMO KAGURA ZA

庄内子供神楽座は、青少年の健全育成と非行防止を目的に昭和51年3月に結成されました。座員は、庄内町に在住する小中学生で構成されており、日々、練習に励んでいます。主な活動内容といたしましては、各地域のお祭りや、イベントのアトラクション、老人ホームの慰問などがあり、県内外を問わず、年間約50回の出張公演を行っています。

■平石神楽座

ひらいしかぐらざ HIRAIISHI KAGURA ZA

昭和50年庄内神楽の祖、高津神楽の長尾東氏より伝授。平石地区の後継者で結成されました。現在16名の座員で構成されています。

名水で知られる地元の諏訪神社、湯布院町宇奈岐日女神社の大祭に奉納しています。

■雲取神楽座

くもとしかぐらざ KUMOTORI KAGURA ZA

昭和2年庄内神楽の祖、高津神楽の佐藤菊太郎氏より伝授。現在18名の座員で構成しています。ジャズ音楽との相似点に着眼、ジャズ神楽で注目されています。

平成9年オーストラリア公演、平成12年東京目黒公会堂公演、平成16年国民文化祭福岡大会に出演しています。

■竹の中神楽座

たけのなかかぐらざ TAKENONAKA KAGURA ZA

竹の中神楽座は浅草流の「高津神楽社」を師とし、約百年の伝統を受継いでいます。庄内町には現在、十二の神楽座が活動を続けており、当座は今の舞子で五代目であり、座員は七十歳を筆頭に十八歳までの二十名が所属。今回の定期公演を始め、地方公演、各種イベントに出演して好評を得ております。

■大龍神楽座

おおたつかぐらざ ONTATSU KAGURA ZA

私共の神楽座は、昭和60年の秋に地区の有志13名で結成し、現在、座員16名で行っています。

神社の奉納、お祭り、福祉施設の慰問、結婚式の披露宴や平成14年愛媛県津島町で開かれた「やすらぎの里」オープニングイベントに出演しました。

■櫟木神楽座

いちぎかぐらざ ICHIGI KAGURA ZA

櫟木神楽座は、昭和52年、杜神社有志一同により発足し、毎夜練習を重ね、昭和53年の杜神社大祭にて初奉納いたしました。以来、大分市春日神社の年5回奉納をはじめ、市内各神社や杉ノ井ホテルのイベント等に参加しております。また、第15回国民文化祭ひろしま2000にも出演しました。

■中臣神楽座

なかとみかぐらざ NAKATOMI KAGURA ZA

中臣神楽座は景行天皇の土蜘蛛(つちぐも)退治伝説に由来する中臣神社に所属する神楽座です。現在の舞の形は明治6年に大野郡の深山流神楽が伝えられ、今でも天明7年(1789年)正月11日付けの巻物を代々の楽長が受け継いでいます。地域内は許より市内外の祭りやイベントで神楽を舞っています。楽員数は22名、130年に亘る歴史と伝統のある舞を後世に引き継ぐために、日々努力を重ねています。

